

## 令和3年度秋田公立美術大学入学者選抜（令和2年度実施）について（予告）

本学では、令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜を次のとおり実施することとしましたので、お知らせします。

### 1 入試区分と募集人員について

入試区分と募集人員を以下のとおりとします。

学部学科	入学定員	入試区分と募集人員								
美術学部 美術学科	100名	一般選抜 70名			学校推薦型選抜 30名					社会人 特別選抜  若干名
		前期日程	中期日程	一般 推薦	推薦選抜Ⅰ 25名			推薦選抜Ⅱ 5名		
					特別推薦					
					県内枠	市内枠	指定校枠			
40名	30名	12名	5名	5名	3名	5名				

### 2 入学者選抜試験科目について

各入試区分の試験科目については以下のとおりとします。

入試区分		大学入学共通テスト			個別学力検査等	総合点
		教科	選択方式	配点		
一般 選 抜	前期日程	国語	左の教科から2教科2科目選択とする。 ただし、1教科は「国語」、 「英語」または「数学」か ら選択とする。 (各200点)	2教科2科目 (400点)	実技試験 (300点) ・鉛筆デッサン 選択試験 (200点) ※1科目選択 ・着彩表現・色彩表現・立体表現・ 小論文 調査書等 (50点)	950点
		外国語				
		数学				
		地理歴史				
		公民				
		理科				
	中期日程	国語	左の教科から3教科3科目選択とする。 ただし、2科目は「国語」、 「英語」または「数学」か ら選択とする。	3教科3科目 (500点) 注1	実技試験 (400点) ・鉛筆デッサン 調査書等 (50点)	950点
		外国語				
		数学				
		地理歴史				
		公民				
		理科				

注1 中期日程の大学入学共通テストの配点は「国語」「英語」「数学」を各200点とし、それ以外の科目を100点とします。

選択される科目が「国語」「英語」「数学」となった場合は、高得点となる選択方式に従い1科目を100点として扱います。

入試区分	大学入学共通テスト			個別学力検査等	総合点	
	教科	選択方式	配点			
学校推薦型選抜	推薦選抜Ⅰ	免除		実技試験 (700点) ・鉛筆デッサン 面接 (200点) 調査書等 (100点)	1000点	
	推薦選抜Ⅱ	国語	必須 (100点)	5教科5科目 (500点)	小論文 (200点) 面接 (200点) 調査書等 (100点)	1000点
		外国語	必須 (100点)			
		数学	左の教科から3教科3科目 選択とする。 ただし、同一教科からは1 科目まで選択とする。 (各100点)			
		地理歴史				
		公民				
	理科					

### 3 調査書等の活用について

「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、全入試区分において「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を調査書や志願者本人が記載する資料を用いて評価します。評価の区分や観点、評価するポイントは以下のとおりです。

なお、既卒者や高等学校卒業程度認定試験合格者など、調査書の発行が出来ない方への代替措置については、詳細が決まり次第公表します。

評価区分	評価の観点	評価のポイント (具体例等)
主体性	芸術に対する 興味・関心	・公募展や展覧会への出展など文化活動全般に対する参加状況 ・日常的に取り組んでいる芸術文化活動
	学習意欲	・学習における特徴や資格取得、検定への取り組み ・総合的な学習の時間の取り組み内容や評価 ・高等学校等での行事や学内運営に関わる活動の積極的参加
	探究心	・将来の職業への意識付けや進路選択に対する情報収集活動および行動力 ・異文化への理解や交流活動
協働性	コミュニケーション 能力	・校内、校外を問わず積極的に他者と関わろうとする態度 ・自身の属する集団でのリーダーシップの発揮
	地域・社会貢献性	・各種ボランティア活動への積極的な参加 ・地域の祭事や伝統芸能への参加
その他	特記事項	・部活動や課外活動などにおいて「特に顕著な成績等」を有している場合の成果

#### 4 学校推薦型選抜の出願資格について

学校推薦型選抜の出願資格については、入試区分ごとに以下のとおりとします。

##### (1) 推薦選抜Ⅰの出願資格

入試区分	出願要件
一般推薦	<p>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者</p> <p>(1) 高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を令和3年3月31日までに卒業又は修了見込みの者で、秋田県外に住所を有する者</p> <p>(2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(3) 出身学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学への入学を確約できる者</p> <p>※特別推薦指定校枠を有している高等学校等から推薦できる人数は2名までとします。</p>
特別推薦	<p>県内枠</p> <p>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者</p> <p>(1) 高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を令和3年3月31日までに卒業又は修了見込みの者で、秋田県内（秋田市を除く）に住所を有する者</p> <p>(2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(3) 出身学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学への入学を確約できる者</p> <p>※特別推薦指定校枠を有している高等学校等から推薦できる人数は2名までとします。</p>
	<p>市内枠</p> <p>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者</p> <p>(1) 高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を令和3年3月31日までに卒業又は修了見込みの者で、秋田市に住所を有する者</p> <p>(2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(3) 出身学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学への入学を確約できる者</p> <p>※特別推薦指定校枠を有している高等学校等から推薦できる人数は2名までとします。</p>
	<p>指定校枠</p> <p>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者</p> <p>(1) 本学が指定する高等学校等を令和3年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(3) 出身学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学への入学を確約できる者</p>

##### (2) 推薦選抜Ⅱの出願資格

入試区分	出願要件
推薦選抜Ⅱ	<p>次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者</p> <p>(1) 高等学校、中等教育学校又は専修学校の高等課程を令和3年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 芸術分野に興味・関心があり、本学において積極的に学ぶ意欲のある者</p> <p>(3) 出身学校長が責任を持って推薦する者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学への入学を確約できる者</p> <p>(5) 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者</p>

## 5 編入学試験の取り扱いについて

編入学試験については、従来の定員10名を若干名に変更して以下のとおり実施します。

### (1) 募集人員

学 部	学 科	募集人員
美術学部	美術学科	若干名

### (2) 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者又は令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学に2年以上在学（令和3年3月までに2年以上在学となる者を含む。）し、当該大学における卒業に必要な単位のうち62単位以上を修得、または修得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ総授業時間数が1,700時間以上であること。）を修了した者又は令和3年3月31日までに修了見込みの者

### (3) 編入学の年次および時期

- ・ 編入学の年次は、3年次とします。
- ・ 編入学の時期は、令和3年4月とします。
- ・ 3年次編入学者の修業年限は、2年とします。

ただし、入学時における既修得単位の認定状況により、本学で定める所定の単位を2年間の在学中で修得できないと判定される場合は、2年を超える在学年数が必要となる場合があります。

### (4) 編入学試験の科目等

入試区分	試験科目	
編入学	面接（個別面接）	ポートフォリオ（A3サイズ1冊）を持参し、5分のプレゼンテーション後、質疑応答